

平成29年1月27日

本市工事に配置する技術者に係る実務経験年数について

契約検査課

本市工事に配置する技術者については、※実務経験で主任技術者になるために必要な期間（実務経験年数）に関して、公共工事の安全かつ適正な施工を確保するため、「技術者実務経験申告書」の提出を求めています。

本申請書の提出に当たっては、実際に従事した期間を「月単位」で計算し、合計期間が所定の年数を満たしているかを確認しています。

経審における「1年1工事」とは取扱いが異なりますので、別紙記載例を参考に「技術者実務経験申告書」を作成してください。

皆様のご理解ご協力をお願い致します。

※資格取得者については、「技術者実務経験申告書」の提出は不要です。

技術者実務経験申告書（市内業者用）

平成 年 月 日現在

(あて先) 藤枝市長
藤枝市病院事業管理者

担当者	連絡先
-----	-----

氏名	建設工事の種類	工事
----	---------	----

●記入例（一定期間の工事で、個々の工事名を具体的に記入できる場合）

使用者の商号又は名称	職名	従事した工事名	従事期間	実務経験年数
〇〇建設株	現場作業員	〇〇〇〇〇工事	H15年 1 月 ~ H15年 10 月	年 10 月
〇〇建設株	現場作業員	〇〇〇〇〇工事	H15年 11 月 ~ H17年 4 月	1 年 6 月
〇〇建設株	現場作業員	〇〇〇〇〇工事	H17年 6 月 ~ H18年 3 月	年 10 月
〇〇建設株	工事現場主任	〇〇〇〇〇工事	H18年 4 月 ~ H19年 6 月	1 年 3 月
〇〇建設株	工事現場主任	〇〇〇〇〇工事	H19年 7 月 ~ H19年 12 月	年 6 月
〇〇建設株	工事現場主任	〇〇〇〇〇工事	H20年 2 月 ~ H20年 12 月	年 11 月
〇〇建設株	工事現場主任	〇〇〇〇〇工事	H21年 2 月 ~ H21年 12 月	年 11 月
〇〇建設株	工事係長	〇〇〇〇〇工事	H22年 2 月 ~ H23年 3 月	1 年 月
〇〇建設株	工事係長	〇〇〇〇〇工事	H23年 4 月 ~ H24年 2 月	年 11 月
〇〇建設株	工事係長	〇〇〇〇〇工事	H24年 3 月 ~ H26年 4 月	2 年 2 月
〇〇建設株	工事係長	〇〇〇〇〇工事	H26年 5 月 ~ H27年 1 月	年 9 月
〇〇建設株	工事係長	〇〇〇〇〇工事	H27年 2 月 ~ H28年 5 月	1 年 4 月
合計				13 年 1 月

実際に従事した期間を「月単位」で記入してください。実務経験の内容は、民間工事・公共工事を問いません。

●記入例（1年に月単位の工事が複数件あり、個々の工事名を具体的に記入できない場合）

使用者の商号又は名称	職名	従事した工事名	従事期間	実務経験年数
△△建設株	現場作業員 外	△△工事 外	H18年 4 月 ~ H19年 3 月	1 年 月
△△建設株	現場作業員 外	△△工事 外	H19年 5 月 ~ H20年 2 月	年 10 月
△△建設株	現場作業員 外	△△工事 外	H20年 6 月 ~ H21年 3 月	年 10 月
△△建設株	現場作業員 外	△△工事 外	H21年 4 月 ~ H22年 2 月	年 11 月
△△建設株	工事現場主任 外	△△工事 外	H22年 4 月 ~ H23年 3 月	1 年 月
△△建設株	工事現場主任 外	△△工事 外	H23年 4 月 ~ H24年 3 月	1 年 月
△△建設株	工事現場主任 外	△△工事 外	H24年 4 月 ~ H25年 2 月	年 11 月
△△建設株	工事現場主任 外	△△工事 外	H25年 4 月 ~ H26年 3 月	1 年 月
△△建設株	工事現場主任 外	△△工事 外	H26年 4 月 ~ H27年 3 月	1 年 月
△△建設株	工事係長 外	△△工事 外	H27年 5 月 ~ H28年 3 月	年 11 月
△△建設株	工事係長 外	△△工事 外	H28年 4 月 ~ H28年 11 月	年 8 月
合計				10 年 1 月

【参考】
実務経験で主任技術者になるために必要な期間（建設業法第7条第2号参照のこと）
大学等（所定学科卒業者）
・・・3年以上
高等学校（所定学科卒業者）
・・・5年以上
上記以外の学歴の場合
・・・10年以上

上記のとおり相違ありません。
平成 年 月 日

所在地
商号又は名称
代表者職氏名

実務経験期間の合計を記入してください。空白期間が生じても構いません。空白期間がある場合は、実務経験期間に算入しないでください。

合計期間が所定の年数を満たしていることが必要です。本申告書には、基本、10年の実務経験を記載してください。

印

○記載要領

1. 本申告書は、技術者名簿（市内業者用）【実務経験者用】に記載した者ごとに作成してください。
2. 本申告書は、建設業法第7条第2号イ、ロ又は第15条第2号ロにより技術者の資格を得ようとする場合の実務経験を記入してください。
3. 実務経験は建設業法第7条第2号イ、ロ又は第15条第2号ロを満たす年数分を記入してください。
(例:実務経験35年で建設業法第7条第2号ロに該当する場合、実務経験10年分を記入)
4. 本申告書は、建設工事の種類（土木一式、建築一式等）ごとに作成してください。
5. 一人について二業種以上の実務経験を記載する場合は、経験期間を重複して計算しないことに注意してください。